



# 三つ柏

— MITSU KASHIWA NO.25 —

平成30年11月13日発行

キーワードは「粘り強く」!

次の算数の問題に挑戦してみませんか



2

たくみさんたちは、「1年生と仲よくなる会」で玉入れゲームをすることにし、その計画を立てています。

まず、玉入れゲームの説明をまとめました。

### 玉入れゲームの説明

- ・ 同じ人数の2チームに分かれる。
- ・ 合図とともに、それぞれのごに玉を投げ入れる。
- ・ 落ちている玉は何回拾って投げてもよい。
- ・ 玉入れゲームは2回行い、入った玉の個数を1回ごとに数え、その合計の数が多いほうが勝ち。



次に、たくみさんたちは、下のような計画を立てました。

### 【たくみさんたちの計画】

全体で使える時間				
ルールの説明	玉入れゲーム1回目	中休み	玉入れゲーム2回目	結果発表と片付け

- ・ 全体で使える時間は20分。
- ・ 玉入れゲームを行う回数は2回。
- ・ 1回の玉入れゲームの時間は3分。
- ・ 中休みの時間は2分。
- ・ 結果発表と片付けの時間は、あわせて7分。

(1) 【たくみさんたちの計画】の「ルールの説明」に使える時間は、何分ですか。答えを書きましょう。

玉を投げる時間が40秒のとき、1回の玉入れゲームの時間は142秒になります。玉を投げる時間を50秒、60秒と長くしたところ、入った玉の個数は、それぞれ64個と80個でした。

玉を投げる時間を40秒、50秒、60秒にしてみました。表にまとめます。

- (2) 1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするためには、玉を投げる時間を、40秒、50秒、60秒のどれにすればよいですか。入った玉を1個あたり2秒で数えることとし、下の表にある4つの□の中にあてはまる数を書きましょう。そして、[ ]の中には、40、50、60のいずれかの数を書きましょう。それぞれ解答用紙に書きましょう。

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

表

玉を投げる時間	入った玉の個数	入った玉を数える時間	1回の玉入れゲームの時間
40 秒	51 個	102 秒	142 秒
50 秒	64 個	秒	秒
60 秒	80 個	秒	秒

玉を投げる時間を [ ] 秒にすればよい。

1回の玉入れゲームには、玉を投げる時間と入った玉を数える時間が必要です。

1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするために、たくみさんたちは、玉を投げる時間をどのくらいにすればよいのかを考えることにしました。



たくみ

1回の玉入れゲームの時間を、次の式で求めます。

$$\text{玉を投げる時間} + \text{入った玉を数える時間} = \text{1回の玉入れゲームの時間}$$

入った玉は1個あたり2秒で数えることにします。

「玉を投げる時間」を長くすると、入る玉の個数が増えるので、「入った玉を数える時間」も長くなります。

そこで、たくみさんたちは、ために、玉を投げる時間を40秒にして玉入れゲームを行い、下のメモにまとめました。

### 【たくみさんたちのメモ】

玉を投げる時間が40秒のとき

- ・ 入った玉の個数は51個。
- ・ 入った玉を数える時間は、1個あたり2秒で数えることにしたので、 $2 \times 51 = 102$ で、102秒。
- ・ 1回の玉入れゲームの時間は、 $40 + 102 = 142$ で、142秒。

玉を投げる時間	入った玉の個数	入った玉を数える時間	1回の玉入れゲームの時間
40 秒	51 個	102 秒	142 秒

2

答えが  $12 \div 0.8$  の式で求められる問題を、下の 1 から 4 までの中からすべて選んで、その番号を書きましょう。

- 1 mの重さが12 kgの鉄の棒があります。この鉄の棒0.8 mの重さは何kgですか。
- 0.8 Lで板を12 m<sup>2</sup>ぬることができるペンキがあります。このペンキ1 Lでは、板を何m<sup>2</sup>ぬることができますか。
- 赤いテープの長さは12 cmです。白いテープの長さは、赤いテープの長さの0.8倍です。白いテープの長さは何cmですか。
- 長さが12 mのリボンを0.8 mずつ切っています。0.8 mのリボンは何本できますか。

## 「粘り強く」取り組める白岩小学校の子どもたち…

解きましたでしょうか？

これは、4月に行った全国学力・学習状況調査の問題です。で困った問題の(2)は、本校の正答率が県平均よりも20ポイント以上、上回った問題です。見ていただいて分かるように、3ページもある長い文章を読み込み、その内容を理解しないと解けないため、途中であきらめてしまう子どもが多い問題です。このような問題で県平均を大きく上回ることができるのは、本校の子どもたちが、「粘り強く」最後まで取り組めることを示しています。これは、5つの調査問題(国語A・B、算数A・B、理科で60問)の内、58問が無回答率0%、つまり、全員が答えを書いていたことから分かります(「無回答率が低い」ということは素晴らしいことです。全国には、途中であきらめて解答を書かない子どもが多く、その対策に悩んでいる学校が多くあります)。

一方、で困った問題は、残念ながら本校の正答率が低かった問題です。夏に行った先生たちの研修では「算数の問題文を図形や数直線などに整理して考える力を付けていかなければならない」などの意見がでました。

子どもたちの強みはさらに伸ばし、弱点を補強できる授業にしていくために、11月7日(水)に指導主事の先生をお迎えし、2年生と5年生で算数の授業研究会を行いました。21日(水)には、3年生と4年生で理科の授業研究会を行う予定です。

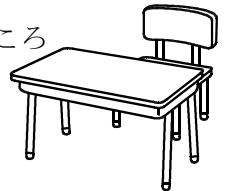
なお、全国学力・学習状況調査の結果は、次のとおりです。



○調査項目別正答率○

	国語A	国語B	算数A	算数B	理 科
白岩小	80	63	64	65	62
秋田県	77	61	67	57	66
全 国	70	54	63	51	60

※Aは「知識」に関する問題  
Bは「活用」に関する問題  
※は本校の強み  
はがんばるところ



### 未来の私にプレゼント PROJECT

## 今月のプレゼントは「正しい姿勢」!

廊下に掲示している『未来の私にプレゼントPROJECT』の一つである「けんこう」をみらいのわたしにプレゼント」のコーナー(保健室前)は、毎月、健康に関わる様々なテーマを取り上げ、子どもたちが立ち止まって考えられるように工夫して張り替えられています。

今月は、机に向かって座っているときの姿勢についてです。「猫背」「横向き」「足組み」「ほおづえ」「寄りかかり」で座っていると、それぞれ身体にどんな悪影響がでるかが分かりやすく書かれています。変な姿勢で座っていると、首や腰に負担がかかるだけではなく、いろいろなところに影響することが分かります。子どもたちだけでなく、大人にとっても参考となる内容です。送迎などで学校にお越しの際、ちょっと校内に入ってご覧になってください。また、家で勉強しているときのお子さんの姿勢にも目を配っていただき、声をかけていただければ幸いです。

